

校長挨拶

第六中学校は、昭和３８年に第一中学校から分離、創設されました。当時は第一中学校内の仮校舎で学び、昭和３９年２月１日、現在の永楽町（当時の住所表記は高槻市大字東天川５２０）に校舎が竣工し移転しました。現在、校舎は『オレンジのライン』を冠し、その様子は変われども、今も昔も地域に溶け込み、子どもたちの健やかな成長を支える場として存在しています。

第六中学校は、『やさしさをもって いきいき たくましく生きる生徒の育成～生徒、保護者、地域、教職員が誇りに思う学校～』を教育目標に掲げ、日々の教育活動に取り組んでいます。予測困難なこれからの時代を生きる子どもたちが、自ら進んで学び、深く考え、納得のいく判断をし、人生を選択していく、学校がその力を養う場であることを理解し、教職員も授業づくりや、子どもたちの望ましい集団づくりに奮励しています。廊下で会えば大きな声で挨拶をし、学びに真摯に向き合い、委員会活動では仲間を率いるべく自らを律して行動し、部活動では後輩に対し細やかな気配りをする。そんな六中生が、六中での学びを生かし、将来に渡し、地域や社会に貢献できる、無二の担い手となるよう今後も教育活動に力を尽くしてまいります。

保護者、地域のみなさまには、日頃より第六中学校の子どもたちの成長にお力添えをいただき感謝申し上げます。今後ともご支援とご協力をお願いいたします。

校長 岩元 優子